

自然と親しもう

生物観察コース

コンセプトポイント



1 天満大池

兵庫県で二番目に大きなため池で、築造は675年頃と言われている。絶滅危惧種であるアサザの生息が観察され、カモ類やシギ、カイツブリなど、水鳥が羽を休める様子も目撃できる。多目的公園としても整備され、広々とした池のほとりには遊具や駐車場、バーベキューサイトなども設置されている。

チェックポイント アサザや水鳥を観察することができる。



2 水辺の里公園

いきものと共生する環境をつくり出し、豊かな自然を呼び戻すことをテーマとした公園。園内には、身近にいる魚の飼育や昆虫の標本、写真が展示してある学習展示棟や、あまり見かけなくなった昆虫や植物を育てている育虫舎、水生動物や植物などが生息する観察池などがある。

チェックポイント 身近な生物から希少な生物まで、様々な種類の生物を観察することができる。



3 加古大池

兵庫県で一番大きなため池で、築造は江戸時代前期頃と言われている。水面のなかほどには島があり、水神さんが祀られている。ヨシ原を保護しており、カモやサギ、カイツブリなどの水鳥が生息しやすい環境作りを行っている。周りの加古大池公園には観察窓が設けられており、メジロやモズなども観察できる。

チェックポイント 渡り鳥をはじめ、数多くの水鳥を観察することができる。

加古川から稲美にかけて点在しているため池は、田畑を潤す以外に渡り鳥の憩いの場としても非常に大きな役割を果たしています。季節ごとに移り変わる昆虫や鳥たちの生活を覗いてみませんか？

